

執筆者紹介

とおやま こう
遠山 浩 本学経済学部教授

むらかみ しゅんすけ
村上 俊介 本学経済学部教授

〈編集後記〉

月報 681 号をお届けします。本号は、遠山浩所員が執筆した「産業集積と地域企業の今後を考える—企業城下町集積と産地型集積にみる考察」という研究ノートと村上俊介所員の書かれた『望月清司論文選 ドイツ史・マルクス・第三世界』（日本評論社、2019）」に対する書評を掲載しました。

遠山研究ノートは、産業集積に焦点を当てて、地域企業に対する考察を行ったものである。本研究ノートは、特に富山県高岡市における仏具メーカーに焦点当てて、遠山署員が2019年夏行われた現地調査をもとに、(株)能作という企業がどのようにビジネスモデルを構築してきたかについて、紹介したものである。

村上書評は、2019年10月に出版された『望月清司論文選 ドイツ史・マルクス・第三世界』（日本評論社）に対する論評を中心に書かれたものである。望月清司先生は専修大学元学長であり、日本を代表するマルクス経済学者である。望月先生の論文をドイツ史、マルクス、第三世界の三つのパートに分けて、第一部ドイツ農制史には、1950年台後半から1960年代に書かれた論文5本、第二部のマルクス研究は、主に1970年代の3本と、それ以後のもの2本で構成され、第三部第三世界論には1981年から1983年までの関連諸論文が5本配置されている。そして巻末にはインタビューを書き起こした「望月清司先生に聞く」が置かれている。村上所員は望月清司先生の大作に対して、丁寧な解説を加え、望月清司先生の研究者人生を振り返ることができた書評である。

(J. Y)

2020年5月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 宮 寄 晃 臣

製 作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561
